

## モバイル・テクニカ、広東省深センに子会社＝IP電話機器など開発

モバイル・テクニカ(本社東京)は5日中国広東省深セン市福田区にIP電話関連機器やソフトウェアの開発・販売を担う子会社「摩貝尔数字通信技術(深セン)」を4日付で設立したと発表した。海外での子会社設立は初めて。開発期間短縮とコスト削減、中国市場への参入が狙い。

新会社は資本金15万米ドル。モバイル・テクニカが全額出資した。従業員数は2008年3月期で50人を予定。深セン市には通信機器メーカーが集積し、技術者を比較的容易に確保できることから、同市での子会社設立を決めた。中国進出をテコに海外での売上高を3年内に10億円売上比率を30%とする。(香港時事)

## 中国网通、3G免許取得に自信＝発行時期は「年末か来年の第1四半期」

6日付の香港紙・信報(10面)、サウス・チャイナ・モーニング・ポスト(B1面)によると、中国固定通信大手の中国网通集団(香港)の左迅生最高経営責任者(CEO)は5日、中国政府が近く発行するとみられている第3世代(3G)携帯電話サービスの事業免許について、同社と同業大手の中国電信が取得できるとの見方を示した。発行時期については「今年末か来年第1・四半期」と予測した。

香港で同日開かれた情報通信技術展示会「テレコムワールド2006」のフォーラムの後、記者団に語った。左CEOによると、政府は2002年、固定通信2社が携帯電話事業に参入することを承諾した。

通信規格に関しては「(中国独自規格の)TD-SCDMAの技術に大きな問題はない」と指摘。免許が取得できれば、使用する規格にはこだわらないとの姿勢を表明した。政府は計3社に免許を発行し、うち1社に同規格の採用を求める方針とされる。(時事)

### 【ソウルだより】 ブランド志向

◆十一月にソウルで開かれたファッションショー「ソウルコレクション」に行ってきた。人気デザイナーのショーだったためか、会場の外にまで長い列ができ、立見も出るなど盛況だった。

◆ファッションは門外漢だし、ショーを見たのも初めて。ほんの十五分ほどで終わったが、音楽や照明などの演出もあり、なかなか楽しめた。出展するのは主に韓国人デザイナーだが、中国など海外でもブランド力を持つ人材も少なくない。

◆韓国の若い層に「ブランド志向」が強まっているようだ。昔は富裕層の中年女性客が多かったという高級百貨店でも最近の主役は若者。韓国ブランドも多く、価格も安くない。ソウルのショッピング街といえば、日本人にも人気の東大門市場だが、「安物」で質も悪いとのイメージが強く、ブランド志向のOLは足を向けないという。

◆ブランド志向の風潮はコーヒーショップでも同じだ。ウォン高のせいもあるが、世界中に展開している米系チェーン店では一杯最低四百五十円程度の換算。こちらの給料水準から見ても高いと思うが、ブランド力なのか、いつものOLの姿でにぎわっている。(A)

